

## 地方創生・しがブランド推進対策特別委員会 行政調査

1 調査日 平成29年7月19日（水）

### 2 調査の概要

#### （1）株式会社カワサキ（近江八幡市中村町）

調査内容 ・ 伝統的工芸品の製造および自社ブランド製品開発の状況について

近江八幡市で生産される木製数珠は、品質の高さから全国シェアの7割を占めるが、半製品（数珠玉）が京都に出荷され製品（数珠）に仕上げられるため、同市が産地であることはあまり知られていないという状況にある。

同市に所在する株式会社カワサキ（昭和3年創業）は、1,400年にわたる歴史と伝統の技を受け継いで高級木製数珠の製造・販売を行っており、平成23年には滋賀県伝統的工芸品の指定を受けた。平成24年には「しが新規事業応援ファンド」の助成を受けて新たな高付加価値数珠の試作を行う等、時代に応じた新商品開発を行い、自社ブランド製品の製造販売にも積極的に取り組んでいる。

こうしたことから、地域資源のブランド化にあたっての課題や推進方策を研究するため、株式会社カワサキを訪問し、伝統的工芸品の製造や自社ブランド製品開発の現状、今後目指すべき方向性について調査を行った。



## (2) 株式会社滋賀銀行（大津市浜町）

### 調査内容 ・ 株式会社滋賀銀行の皆さんとの県民参画委員会

本県では、平成 27 年に策定した「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」に基づき地方創生の取組を進めるとともに、地域資源の活用やブランド化、滋賀・びわ湖ブランドや「おいしが・うれしが」等の個別ブランドの推進の取組を進めている。これらを推進し、具体的な地域活性化の成果に結び付けるためには、産官学金労の連携および有望な分野・事業の創造や発掘が極めて重要である。

株式会社滋賀銀行では、平成 27 年に「ひと・まち・しごと創生法」をふまえた基本方針および行内態勢を構築し、県内における地方創生の取組を支援しているとともに、本県に根差した地域金融機関として、地域資源の活用とブランド化に向けた支援を行っており、さらに同行は、融資やコンサルティング業務を通じ、将来性をも見据えた業界・企業・事業の動向に精通している。

こうしたことから、企業等による地方創生、地域資源の活用やブランド化に関する取組に関し、地域金融機関としての支援策、特徴的な成功事例や将来有望な事業例等を把握するため、株式会社滋賀銀行を訪問し、意見交換を行った。

